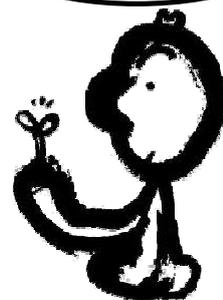


NEWS



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

季節の始まりに



教員は、毎年4月が1年の始まり。大学に入りたての若者たち百数十名を相手に90分の講義を続けるには、それなりの工夫がいる。

マルチメディアを駆使し、大教室中を歩き回って学生にマイクを振り、笑いを取りながら授業を進める。が、最後に授業の感想を書かせると、「...面白かった」のたった1行。内心じくじたる気持ちになる季節である。

そんな話しを交えて防災の講演をした先日のこと。地元の行政職員と思しき男性が近づいてきた。

「先生、もしかして学生時代、ゴルフ同好会に入っていませんか」。

これまでも仕事柄、話しを聞いたことはあったけれども、この日の講師紹介で出身大学を聞き、30年前と現在が一挙につながったとの由。

「いやー。女の子と車のことしか興味がなくて、他はなァーんにも考えてなさそうだった先輩が、まさか同じ防災の世界にいるなんて、びっくりしましたー」。Y氏は、うれしそうに話して帰っていかれた。

今、目の前には百数十枚の授業の感想がある。これから30年後に発生する南海・東南海地震の際、この学生たちは社会の中軸になっている。神戸の震災の知恵が、その時に一つでもつながってくれたら。そんな風に思い直す季節の始まりでもある。

同志社大学社会学部教授 立木茂雄
(しみん基金・KOBÉ 審査員)

主な目次

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ◆ 市民社会を支えるお金の流れを考える-----2 | ◆ しみん基金 KOBÉ 活動報告----- 4 |
| ◆ 総会&助成成果報告会のご案内 ----- 3 | ◆ ぼたんの会・夜会6のご案内 ----- 5 |
| ◆ はぁ~とふるファンド結果報告----- 3 | ◆ 12年目のひとり言 ----- 6 |
| ◆ ぼたんの会・1.17メモリアルコンサート報告--- 4 | ◆ 会員数とご寄付のご報告----- 6 |

コラム

市民社会を支えるお金の流れを考える

しみん基金・K O B E 事務局長 江口 聡

しみん基金・K O B E が発足して、まもなく 10 年を迎えようとしています。発足した当時はめずらしかった N P O による「コミュニティ・ファンド」も、その後各地にいろいろなタイプのものが生まれ、また市民活動を支えるための行政系機関や民間による資金供給のしくみも、金融 N P O の登場も含めて、確実にそのルートは増えてはきました。しかしながら、市民活動を資金的に支える基盤はまだまだ脆弱なままです。この現実をどのように考えればよいのでしょうか？

最近、標題のような名前で開催される会が増えてきています。筆者も、そのような場に足を運び、あるいは老舗ということでお話をさせて頂くこともありました。それらを通じて、この話は以下の 3 つの立場で要点を整理して考える必要があるのではないか、と感じています。

(1) N P O / N G O やボランティア団体など市民活動側に求められていること

図 1 は、市民活動団体を中心にすえて、右側が社会的な課題解決のためにたとえ十分な対価を得られなくてもサービス等を提供していることを、左側がそれらを支えるために多様な支援を必要としていることを示しています。多くの市民活動団体は確かに良いことをしているのですが、目前の課題解決の活動(右側)に熱心であるあまりに、支援者側への働きかけ(左側)がおろそかになりがちであることが、最近よく指摘されています。すなわち支援者に向けての情報公開や説明責任の活動で、最近企業の社会的責任(C S R)が盛んに叫ばれていますが、市民活動団体側にも同様のことが求められているのです。つまり両側のバランスの取れたマネジメント力が問われてきています。

(2) 資金や労力・知恵を提供する市民側に求められていること

市民の側に求められていることは、高度経済成長を経て多様化する社会の中で、または少子高齢化や環境問題などの切迫した社会状況の下で、「公共」ということが決して行政だけで実

現できるものでない時代になってきたことを認識することです。

その上で、ひとつひとつの「いのち」にはそれぞれが背負った使命があるのだと思います。そのことを「生物多様性」になぞらえて「使命多様性」と呼びますが、その存在は縁の結び目であり、静かな心でその使命を見つめ直し、一人ひとりがその意思や願いをかなえるために行動を起こすことを現代は求められているのだと思います。

つまりこれまで「寄付」や「ボランティア」というと、哀れみからの善意や無償の社会奉仕という認識でしたが、これからは社会に貢献するために一人ひとりの使命を果たす意思表示や利他的な行動という考え方を加えた方向にシフトしていくことが求められているのです。

(3) 両者を仲介する中間支援組織や N P O ファンドに求められていること

私は、現代を生きる人々がそれぞれの所属する組織に縛られて、まだまだ個々の持つ本来の使命が十分に出会えていないのではないかと、思っています。両者を仲介する立場にあるところは、多様な使命の出会いの機会を提供することと、それらをつなぐ多様なルートをつくっていくことが求められていると考えています。そのためにも、特に市民活動団体等の支援者向けの活動(情報公開・説明責任)の基盤強化に寄与することが最優先の課題だと思います。

冒頭の標題に掲げた「市民社会を支えるお金の流れを考える」ということは、とにもかくにも一人ひとりの社会的意思表示のあり方を問う必要があるのだ、と思います。つまり、これからの市民社会が、ひとつひとつの「いのち」の尊厳を大切にし、お互いの「こころ」を育み、未来に続くらしのしくみを市民自らが可能な範囲でその使命に従いつくりだしていくボランティアな社会を基調としたものになる方向にシフトすることが、とても大切だと考えています。

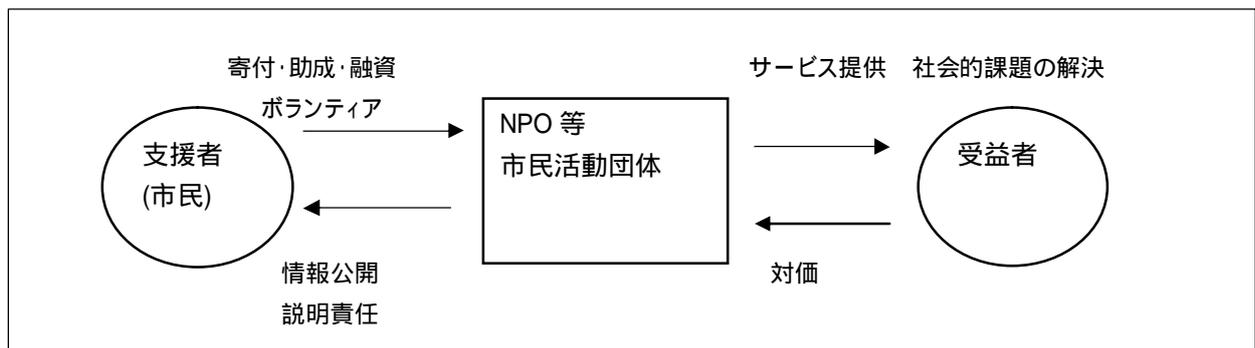


図 1 市民活動団体の活動相関図

平成20年度しみん基金・こうべ総会 & 平成19年度助成事業成果報告会 開催のご案内

来る2008年5月30日(金)16:00より、平成20年度特定非営利活動法人しみん基金・こうべ総会を開催する予定です。総会では、平成19年度の事業報告及び決算報告と平成20年度の事業計画・予算計画を審議いたします。正会員の皆さんは、是非ともご出席いただきますようお願いいたします。

また同時に、総会終了後に平成19年度助成事業の助成団体による成果報告会 & 交流懇親会を開催する予定です。これは、助成事業の成果の共有と助成団体間の交流の機会の提供を目的としています。こちらはどなたでも参加できます。

日 時:2008年5月30日(金)16:00~19:30
 場 所:コムスタこうべ(神戸市生涯学習支援センター)
 407号室・305号室
 住所:神戸市中央区吾妻通4丁目1-6
 TEL:078-251-4731
 三宮駅より東へ徒歩15分ほど
 スケジュール(予定):
 16:00~16:45 平成20年度しみん基金・こうべ総会
 17:00~19:30 平成19年度助成事業成果報告会
 & 交流懇親会

平成20年度はあ〜とふるふぁんど「ひょうごボランティアあしすと」支援事業の結果報告

しみん基金 K O B Eでは今年度も引き続き、兵庫県遊技業協同組合・神戸新聞グループで構成された”はあ〜とふるふぁんど委員会”より「ひょうごボランティアあしすと」支援プログラムの助成事務を受託しました。

平成20年1月8日(火)~2月29日(金)までの申請受付期間に兵庫県下の162団体から応募があり、3月中の”はあ〜とふるふぁんど委員会”における審査を経て、別表の36団体に支援金が贈呈されることに決定しました。

平成20年度合格団体

No	団体名	No	団体名
1	海っ子倶楽部	19	北区青少年育成協議会 大池支部
2	兵庫県ツインバスケットボール連盟	20	小野市連合 PTA
3	(特)兵庫虹の会	21	兵庫県手話サークル連絡会
4	やまとボランティア	22	ひまわり号を走らせる姫路実行委員会
5	デイズー淡路	23	神戸キャンドルナイト実行委員会ホウキ星
6	ママ et ママ	24	くすのきグループ
7	下陰区自主防災会ネットワーク	25	～食と環境を考える～コミュニティガーデン
8	中陰区自警団	26	東浦朗読ボランティアグループ「ひとみの会」
9	小野市ゲートボール協会	27	ひょうご・伊丹ネイチャーゲームの会
10	ヘルプ愛育	28	(特)兵庫県腎友会 阪神ブロック
11	ボランティアグループ 絵本の会 タッチ	29	クレセント
12	ハンドメイドカフェ・オーラ	30	ぐるーぷ ふれーる
13	朗読ボランティア かたつむり	31	ボランティアグループ かよう会
14	西宮救急グループ	32	コリア教育文化センター
15	ひょうご・宝塚ネイチャーゲームの会	33	(特)KOKORO 和 KOBE
16	福祉作業所 ミルトスの木	34	三田路・わらじウォーク世話人会
17	色たん と 神戸ころころ	35	(特)阿久伊羅
18	脳卒中者友の会「あけぼの会」	36	中村町むらづくり協議会



～ぼたんの会 1.17メモリアル・コンサート～
竹下景子さん “詩の朗読と音楽の夕べ”



震災から13回目の1月17日、今年も神戸新聞松方ホールにて、ぼたんの会実行委員会と復興支援コンサート実行委員会の共催で「1.17メモリアルコンサート竹下景子さん“詩の朗読と音楽の夕べ”」を開催いたしました。

今年も多くの方々から希望の光と夢の溢れるメッセージを詩のかたちで送っていただきました。その中から厳選された7つの詩を、林晶彦さんの即興演奏とともに、竹下景子さんに魂を込めて朗読していただきました。名倉誠人さんのマリimba演奏もすべて震災から生まれたもので、とても素敵なステージを参会していただいたみなさんと静かの気持ちで共有することができました。

震災からの復興の過程で気づかされた、ひとつひとつの“いのち”の尊厳と思いやり支えあうの“こころ”を育むことの大切さを、改めて確認できたコンサートでした。



～ 詩の優秀作品入選者～ (プログラム順)

- | | |
|----------------|-------------|
| 細川 遥さん(徳島県鳴門市) | 金曾和子さん(播磨町) |
| 桜石葉風さん(神戸市) | 高嶋正三さん(神戸市) |
| 北村和仁さん(芦屋市) | 高木朝雄さん(神戸市) |
| 石井久美子さん(神戸市) | |



しみん基金・K O B E の活動報告(2007年11月～2008年3月)

【イベント・講演】

2007年

- 12月1～3日 **NPOメッセ in 関西2007**「分野・セクター・国境を超え、社会デザインの可能性を探る。」@大阪経済大学他
 主催:近畿労働金庫
 (特活)日本NPOセンター
 NPOメッセ実行委員会

- 12月14日 **毎日新聞神戸支局チャリティ・オークション**

2008年

- 1月27日 **ボランタリースクエア21**
 @コープこうべ生活文化センター
- 2月1日 **宝塚市社会福祉協議会主催「助成金を取り巻く状況について考えるフォーラム」**にて講演 : 村井副理事長、江口事務局長
- 2月3日 **先端医療と市民の協働を考えるシンポジウム**
 @神戸臨床研究情報センター

- 2月20日(特活)シンフォニー主催シンポジウム「**お金の流れを考える**」にてパネル出演:江口事務局長
- 2月23日 **NPO支援財団研究会シンポジウムin関西**「地域の活性化に向けて助成財団の役割と助成金活用法」@大阪NPOプラザ
 主催:NPO支援財団研究会
 (社福)大阪ボランティア協会
- 3月16日 (特活)和歌山NPOセンター主催「**分野別NPO交流会**」にて講演:江口事務局長

【会議】

- 2007年
- 12月12日 **運営会議**:今年度助成事業の振り返り
- 2008年
- 1月21日 **運営会議**:新年度事業計画ブレンストーミングと役員・審査員改選について
- 2月8日 **理事会**:前2回の運営会議の報告・協議
- 3月31日 **運営会議**:新年度事業計画の骨子について

ぼたんの会・夜会 vol.6



ぼたんの会実行委員会では、5月に「ぼたんの会・夜会Vol.6」を開催いたします。

震災からの復興の過程で生まれてきた様々なボランティアな活動は、今や地域社会の中でなくてはならない存在になってきました。こうした活動を支える仕組みのひとつとして、寄付という参加の形があることを多くの人に知ってもらいたいという想いで企画されたこの会も、今回で6回目を迎えることとなります。美しい音楽とエンターテイメント、美味しい料理に囲まれたお洒落な一夜を楽しんでいただけます。皆様のお越しをお待ちしています。

なお、現在前売りチケットをぼたんの会実行委員会の下記の各構成団体にて絶賛発売中です。お知り合いの団体に問い合わせいただければ、チケットを手に入れることができると同時にその団体を支援することにつながります。何卒よろしくお願い申し上げます。

【構成団体】(特活)市民活動センター神戸、(特活)兵庫県子ども文化振興協会、被災地 NGO 協働センター、(財)神戸学生青年センター、(特活)神戸まちづくり研究所、(特活)ゆめ風基金、(特活)しみん基金・こうべ、アートサポートセンター神戸、(特活)コミュニティサポートセンター神戸、移住労働者人権裁判基金、公益信託亀井純子基金

日時：2008年 5月 22日(木)

開場 18:00 ~ 開演 18:30 ~

会場：北野ガーデン

神戸市中央区北野町2-8-1

JR・阪急・阪神「三宮」駅より徒歩10分

TEL 078-241-2411

会費：¥10,000

出演：飯山友子(ソプラノ)

摩耶はるこ(シンガーソングライター)

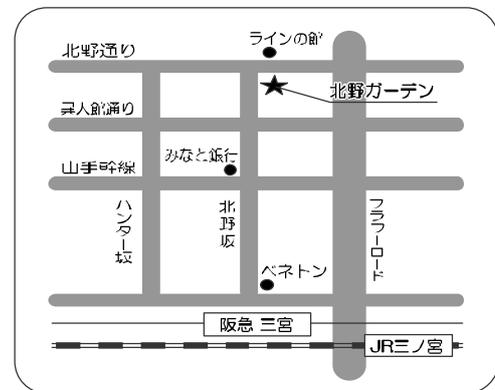
ナオコ・ルクミニー(南インド古典舞踊)

川端民江(マジック)

林敏之(ラグビー)

ヴィッセル神戸(サッカー)

司会：小山乃里子



～チケットのお求めは、しみん基金・K O B E 事務局 (TEL: 078-230-9774) で承っています。～

ぼたんの会は、代表を黒田理事長、事務局長を野崎常務理事が務め、当基金が事務局を担っています。

<リサイクル寄付のお問い合わせ&ご協力方法>

古着：オレンジスリフティ TEL 078-858-7090

〒657-0027 神戸市灘区永手町3-1-208

オレンジスリフティ 六甲店

- ・上記ショップへ持参または宅配便にて送付してください。
- ・送付の際は、メモにて「リサイクル寄付」とご記入の上、送料は送り主様にてご負担ください。
- ・お洗濯やクリーニングなど、一般的な処置を済ませていただいた上で、あまりに汚れているものや消えないしみのついているものは除いてください。再販売が可能なものと考えていただければ大丈夫です。

家具・家電製品：しみん基金こうべ事務局

TEL 078-230-9774

- ・まずはお電話ください。提携先企業より係員を派遣して品物を確認させていただきます。
- ・家電製品につきましては、2002年以降製造のものしかお取り扱いできません。ご了承ください。
- ・再販売できるものが対象ですので、状態によってはご協力いただけない場合がございます。



12年目のひとり言
～コンプライアンス～



近年、「コンプライアンス」という言葉を頻りに耳にするようになった。大手企業における度重なる不祥事に対して、米国から輸入された言葉である。また、本年度から企業の内部統制に関わる「日本版SOX法」も施行される。こちらも「SOX法」の起源は米国である。「コンプライアンス」の意味をネット等で調べてみると以下のような説明がなされている。「企業が経営・活動を行う上で、法令や各種規則などのルール、さらには社会的規範などを守ること。一般市民が法律を遵守することと区別するために、企業活動をいう場合は、「ビジネスコンプライアンス」ともいう。もともとは1960年代に米国で独禁法違反、株式のインサイダー取引事件などが発生した際に用いられた法務関連の用語であるため、「法令遵守」と訳されることが多いが、英語の compliance は「(命令や要求に)応じること」「願いを受け入れること」を意味し、近年では守るべき規範は法律に限らず、社会通念、倫理や道徳を含むと解釈される」

法を守ること、社会的なルール(倫理・道徳)を守ること、いずれも「人」のモラルによってしか守ることは出来ない。裏返して考えると、人のモラルが欠如してきているからこそ多くの法律を作り、声高に道徳や倫理を叫ばなくてはならないのではないのではないだろうか。市民活動団体にとっても決して人ごとではない。公益法人の抜本の見直しによる特定非営利活動促進法の改定によって、今後、団体運営や活動において「コンプライアンス」を重要視しなくてはならないであろう。これまで、行政や企業に対して向けられていた監視の目が、市民活動にも同様に向けられる日が、そこまでやって来ている。

しみん基金・K O B E 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

正会員 個人 39名 団体 5名

賛助会員 個人 127名 団体 13名

(2008年3月末現在)

寄付・募金合計 金 735,100円

寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

オレンジスリフティ、毎日新聞神戸支局、兵庫県遊技業協同組合、中島秀男

(2007年11月～2008年3月)

皆様に、心よりお礼申し上げます。

「しみん基金・K O B E」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円
団体会員 年間 10,000円



お申し込みは電話・FAX・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

振込口座 三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921
近畿ろうきん 神戸支店 普通 4161854
郵便振替 00990-5-157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」



毎日新聞神戸支局からご寄付を頂きました

2007年12月25日、北川創一郎・毎日新聞神戸支局長様より寄付金(¥500,000)の贈呈がございました。これは、12月14日に開催された毎日新聞神戸支局主催による年末恒例の「第16回チャリティー・オークション」の収益金の一部でございます。温かいお志に心より感謝申し上げます。

